

各位

2013年11月08日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務部（広報）担当：立花
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成25年9月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比126.6%と前年を大きく上回り、一般団体は同99.8%と前年とほぼ同水準となり、団体旅行合計で同104.2%と前年を上回った。企画旅行については、東アジア方面を中心として不調であり、前年比90.8%、個人旅行については、同85.7%であった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比91.9%であった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比93.3%、学生団体は同96.6%となり、団体旅行合計で同94.9%と前年を下回った。企画旅行については前年を上回り同105.6%、個人旅行については同99.6%と前年同水準であった。この結果、国内旅行総取扱額としては、101.5%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比125.1%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の9月の総取扱額は前年比98.2%と、ほぼ前年と同水準であった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は円安の影響を受けつつも、国際スポーツ大会等の需要を取り込み、前年比101.0%と前年水準を維持した。学生団体は修学旅行以外の需要獲得により前年比126.6%と大きく伸長した。この結果、海外団体旅行合計で同105.3%と前年を上回った。国内団体については、一般団体は昨年多くのコンベンションを取扱った反動もあり、前年比93.9%と下回り、学生団体も同96.7%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行合計で同95.3%となった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比100.1%とほぼ前年と同水準であった。方面別取扱人数の状況では、伊勢志摩、中国四国方面等が前年を大きく上回ったほか、東北、首都圏、信州、中部、関西方面などが好調である。

ホリデイは、販売割合が高い東アジア方面を中心として全般的に不調であり、特に中国方面については引き続き大きく低迷している。東南アジア方面は好調であるものの、各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、東アジア方面は以前厳しい状況にあるものの、西欧、アメリカ、オセアニア方面が好調であり、全般的には前年水準を上回った。バス旅行を除く国内旅行部門は、台風の影響を受けたものの全般的に好調であり、前年比107.9%と前年を上回った。バス旅行部門も同118.4%と、前年を大きく上回った。

テーマ旅行部門はひとり旅の販売が好調で、国内は高グレード商品、海外では女性限定商品等が牽引し、前年比117.1%と大きく伸長した。

以上